

分析機能ツールは、投資家にとって最強の武器になります。ここで挙げるいくつかのツールをデモで試してみても、自分と相性がいいものをひとつ選び、そのツールを熟知するようにしましょう。あれこれ使うよりはひとつに絞って、使いこなすことをお勧めします。

● HYPER SBI (SBI証券提供)

外国の株価指数がリアルタイムで閲覧できるなど、情報が豊富で、テクニカル指標、注文関連など、お手本になるツールです。

初心者が最初に入門用として使うには十分な機能が備わっています。有料のツールですが、月1回取引するなど簡単な条件を満たせば無料になります。

● マーケットスピード2 (楽天証券提供)

プロも多く使っていて、高度な機能が豊富な取引ツールです。情報の豊富さもさることながら、ひとつのツールで国内株式からFX、先物、外国株式の取引まで、ほとんど

の金融商品に対応しているので、将来は株式以外の投資も考えてみたいという人には強力な支援ツールになります。

また各企業の情報、ニュース、チャートなどを自分の好みにあわせて配置する機能が充実しているのも特徴です。有料のツールですが、信用口座を開設するとずっと無料になるなど、簡単に無料で利用することができます。

● ライブスターR2 (ライブスター証券)

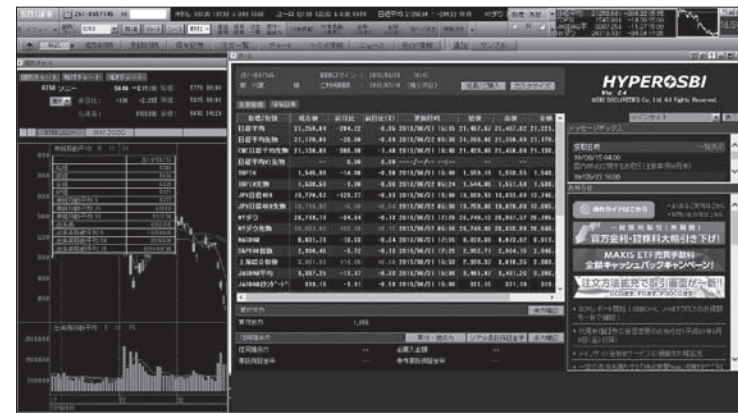
チャートのタイプが他社のツールと比べて多く、投資家の好みにあわせて見方を設定することができます。描写ツールも非常に豊富で、分析が好きでいろいろ書き込みたい人には最適なツールです。

また、ライブスター証券の素晴らしい点は、利便性向上に積極的で、ユーザの声を驚くほど早く反映するところです。改善要望が多ければ数カ月以内に機能が改善されるので、1年経つと驚くほどの進歩を遂げています。これからの改善が楽しみなツールです。

● 楽天証券の取引ツール マーケットスピード2



● SBI証券の取引ツール HYPER SBI



お勧めの証券会社はどっち？

証券会社の選び方についての基準と、その基準をクリアしている会社を紹介しました。セミナーなどで最終的に出る質問は、やはり「それで、あなたのお勧めの証券会社はどこ？」です。

しかし、ひとつだけを挙げると広告にしかならないので、あなたの選択する余地を残したいと思います。個人投資家に人気があり、ツール・手数料の面を考慮しても私がよくお勧めするのは分析機能の例で紹介した3社です。

もうひとつアドバイスすることは、「証券口座は最低でも2社以上、できることなら3社以上開設したほうがいい」ということです。手数料とツールの使い勝手はもちろんのこと、ネット証券なので、いつシステム障害が発生するかわかりません。大事なチャンスを逃さないためにも、口座は複数持つようにしましょう。

● ライブスター証券の取引ツール ライブスター R2

